



人生100年時代！
今からでも遅くない？

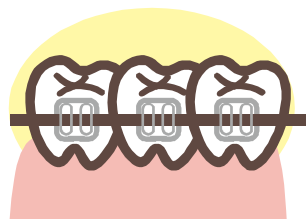


大人の歯科矯正のメリットとデメリット

歯科矯正と聞くと、皆さんは「子どもの頃にするもの」というイメージが強いのではないのでしょうか？ 確かに成長過程にある子どもは歯が動きやすく矯正に適した時期と言えます。しかし、矯正は大人になってからでも遅くはありません。最近では、「歯並びが悪いことがずっと気になっていた」とか、「子どもが矯正を始めたので自分もやりたくなった」という方が増え、大人になってから矯正を始める方も少なくありません。そこで今回は、**大人の歯科矯正のメリットとデメリット**についてお話しします。

矯正装置の種類

矯正装置は、歯の表面にブラケットと呼ばれる金属製の装置を付けてワイヤーで矯正するものが一般的ですが、昨今ではこのほかにもさまざまなタイプのものがあります。例えば、**ブラケットが透明や白色で目立ちにくいもの、歯の裏側に装置を付けるもの、またブラケットを使用しないマウスピースタイプのもの**もあります。それぞれ**歯を動かせる範囲や治療期間、かかる費用**などがさまざまですので、しっかりと確認したうえで選択することが大切です。



大人の歯科矯正のメリット

コンプレックスを解消する

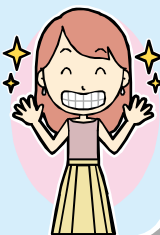
若い頃に歯並びを治したいと思ったけれど、時間もお金もかかるし…と矯正に踏み切れなかったという方は意外といらっしゃると思います。歯並びが気になって笑顔がこげない、鏡を見た時に歯並びの悪さが目に付く…そんな**長年のコンプレックスを解消できる**のが大人の歯科矯正の最大のメリットでしょう。人生100年と言われる時代、残りの人生を歯並びに自信を持って過ごせるのはステキなことですよ。

歯周病を予防する

歯と歯が重なっていたり一部がへこんでいるなど、歯並びが悪いとどうしても**みがき残しが多くなり歯周病のリスクが高くなります**。そのため矯正で歯並びを美しくすれば、**歯みがきがしやすくなるため歯周病予防につながります**。

噛み合わせが整う

矯正では歯並びだけでなく、上下の噛み合わせも整えることができます。食べ物がうまく噛めない、歯ぎしりのクセがある、肩こりがあるといった、**噛み合わせの不具合が原因の不調も解消することができます**。



大人の歯科矯正のデメリット

治療期間が長くなる

歯ぐきや歯を支える骨が硬くなっている大人の歯は、子どもと比べると**治すのに時間がかかります**。また、大人の歯は元の場所に戻ろうとする力が強いので、**歯並びを固定させるのにも時間を要します**。そのため、治療期間は長くなりがちです。



歯周病が悪化する可能性がある

歯周病を治療しないまま矯正で歯を移動させてしまうと、**歯周ポケットがより深くなって歯周病を悪化させることがあります**。基本的には、むし歯や歯周病は治療を終わらせてから矯正を行います。重度の歯周病の場合は治療に時間がかかってしまう場合もあります。

痛みを感じやすい

骨が硬くなっているため、大人の矯正は子どもと比較すると痛みを感じやすいと言われています。感じ方には個人差がありますが、違和感や痛みは装置を付けてから**2～7日間程度続くことが多く、その後は少しずつ慣れていきます**。

